

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス 星の音			
○保護者評価実施期間	令和8年2月1日		～	令和8年3月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数)	1名
○従業者評価実施期間	令和8年2月1日		～	令和8年2月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月21日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	星槎高校でデイを実施しているため教室が多数ある。必要に応じて教室を開放している。	お子さんが過ごしやすいようにその日の状態を見て環境を整えている。
2	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	チームでプログラムを立案し、中高生向けのプログラムを提供できるように工夫。必要に応じて、星槎高校の行事を参考に取入れる場合もある。	中高生向けの他事業所と繋がりを作りどのような活動を行っているか参考にさせていただき取り入れていきたい。
3	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	相談室や就労支援事業所さんとの繋がりがあから卒業された後もスタッフが事業所に何い情報共有をさせていただいている。	卒業後、就労に関して不安があるご家庭が多いので就労支援の方をお招きした講演会を実施していくことを検討したい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	年齢層が高いため交流する機会があまりない。	児童館との繋がりを持ち、中高生がボランティアという形で子どもたちの遊び相手をするなど交流を持てるように検討したい。
2	不登校児に対する支援の力、知識をもう少し持つべきと考える。	不登校のお子さんに対する対応の仕方や今後の方針決定など専門的な知識や経験を持つスタッフが少ないことが課題。	積極的に研修に参加、他事業所への見学を通して学んだことを日々の療育で活かすなどスキルアップが必要。
3			